

2016年8月25日

Fujisawa SST 協議会

医療・介護・教育・保育・多世代交流の施設を備えた多機能複合型拠点

Fujisawa サステイナブル・スマートタウンの多世代共生を支えるウェルネススクエアが開業

ICTや先端技術を活用した施設間情報連携、高齢者見守り、学習サービスを導入

Fujisawa SST 協議会（代表幹事：パナソニック株式会社）は、Fujisawa サステイナブル・スマートタウン（以下Fujisawa SST）の持続的なコミュニティ醸成に向けて、医療・介護・教育・保育の垣根を越え、一つの拠点で、包括的ケア、子育て支援、多世代交流を実現する多機能複合型拠点「Wellness SQUARE（以下、ウェルネススクエア）」を9月1日より開業します。Fujisawa SSTの参画企業・団体が協業し、ICTや先端技術を活用した、施設間の情報連携、介護入居者の見守り、新学習サービスを実現するとともに、「健康」「福祉」「教育」に関するサポートメニューを通じ、Fujisawa SSTのスマートコミュニティを支えます。

ウェルネススクエアは、北館と南館の2棟から構成される拠点で、約68kWの太陽光発電、またガスコージェネレーションシステムや蓄電池などを備え、環境負荷の軽減を図ります。北館は、来年4月の開業を目指し、特別養護老人ホームと短期入所生活介護施設が入居する予定です。今回竣工した南館には、サービス付き高齢者向け住宅、居宅介護支援施設、訪問介護施設、通所介護（デイサービス）施設、訪問看護施設、クリニック、薬局、認可保育所、学童保育施設、学習塾が入居するほか、多世代交流を促す交流ホールやカフェなどを併設します。高齢者と子どもたちが一緒に参画するイベントやサークル活動などを検討するほか、健康・福祉に関する勉強会や、育児や教育に関する講座開設など、多世代の交流を図り、地域住民の健やかな暮らしを支える取り組みを行っていきます。

学研グループ（本社：東京都品川区、代表者：宮原博昭）は、運営するサービス付き高齢者向け住宅を中心に、クリニック、薬局、通所介護（デイサービス）、訪問介護、訪問看護との間でICTを活用した情報連携や各事業所間の人的交流を通じ、ウェルネススクエアを核とした地域包括ケアのネットワーク構築を目指します。また、社会福祉法人カメラア会（本部：東京都江東区、代表者：湖山泰成）が来年4月開業予定の特別養護老人ホームとも連携し、介護を中心とした地域のニーズに対応していきます。また、株式会社アインファーマシーズ（本社：北海道札幌市、代表者：大石 美也）は、「電子お薬手帳」とFujisawa SSTが提供する居住者向けの情報サービスとの連携により、適切な服用方法、季節毎の健康サポート情報などを提供する予定です。サービス付き高齢者向け住宅では、全室にパナソニックの「スマートエアコンみまもりサービス」を採用し、スマートエアコンとセンサーが入居者の活動量、在不在を見守ることで、施設職員と入居者に負担なく介護に必要な情報を集約することが可能になります。学習塾では、幼児から中学生を対象に“基礎学力”と“考える力”を育む「学研教室」の対面指導・学習コンサルティングと、ICTを活用した新オンライン学習サービス「学研ゼミ」を組み合わせた、新たな地域教育拠点「学研スクエア」を「学研Fujisawa SST教室」としてスタートします。

Fujisawa SST協議会は、子どもから高齢者まで街に関わる人々が、交流を育み、健やかに暮らすコミュニティ醸成を目指し、100年先も続くサステイナブルな街「Fujisawaモデル」の実現に向けて取り組みを加速していきます。

【報道関係者様お問合せ先】

パナソニック株式会社 広報部 TEL：03-3574-5661（東京）/06-6908-0447（大阪）
株式会社学研ココファンホールディングス 広報課 TEL：03-6431-1863

■Fujisawa SST 協議会メンバー（18 団体）

パナソニック株式会社（代表幹事）、株式会社学研ホールディングス、株式会社学研ココファンホールディングス、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、湖山医療福祉グループ 社会福祉法人カメラア会、株式会社 電通、東京ガス株式会社、パナホーム株式会社、東日本電信電話株式会社、三井住友信託銀行株式会社、三井物産株式会社、三井不動産株式会社、三井不動産レジデンシャル株式会社、ヤマト運輸株式会社、株式会社 アインファーマシーズ、アクセンチュア株式会社、株式会社 サンオータス、総合警備保障株式会社

<アドバイザー>

藤沢市、慶應義塾大学 SFC 研究所、東京電力エナジーパートナー株式会社、Fujisawa SST マネジメント株式会社、株式会社 日本設計

■ウェルネススクエア概要

開業	【南館】2016年9月1日 【北館】2017年4月開業予定
所在地	【南館】神奈川県藤沢市辻堂元町 6-17-1 【北館】神奈川県藤沢市辻堂元町（未定）
敷地面積	6891.92 m ² （延床面積：11529.52 m ² ） ※南館・北館の合計
建築構造	【南館】地上4階建鉄筋コンクリート造り構造 【北館】地上5階建鉄筋コンクリート造り構造
入居施設	【南館】 クリニック、薬局、サービス付き高齢者向け住宅、居宅介護支援施設、訪問介護施設、通所介護（デイサービス）施設、訪問看護施設、認可保育所、学童保育施設、学習塾施設 【北館】 特別養護老人ホーム、短期入所生活介護施設

【南館外観イメージ図】



【北館外観イメージ図】



■各施設の概要

①サービス付き高齢者向け住宅 「ココファン藤沢 SST」（運営：株学研ココファン）

24時間ケアスタッフ常駐し、各種サービスと多様な居住空間・安全の設備で自立の方から重介護・認知症の方も安心して暮らせる住まいを提供。ウェルネススクエア南館における高齢者福祉の中心拠点。ICTを活用し、併設の介護・医療・看護がシームレスに連携した包括的なケアを提供。

②居宅介護支援「学研ココファン藤沢 SST」（運営：株学研ココファン）

高齢者住宅ならびに地域の在宅高齢者に対し、ケアマネジャーがケアプラン作成。各種介護事業者との調整を行うといった高齢者の介護の総合窓口機能を有します。

③訪問介護「学研ココファン藤沢 SST_HC」（運営：株学研ココファン）

ヘルパーが食事・入浴・移動時など日常生活における介護サポートを行います。館内に24時間常駐するスタッフが行うことで、入居者の体調や暮らしの状況把握がスムーズとなり、医療・看護との連携によって、一人ひとりにあわせた適切なケアを提供します。

④通所介護(デイサービス)「デイサービス ココファン藤沢 SST」(運営:株学研ココファン)学研独自の認知症予防プログラム「脳元気タイム」を導入したデイサービス。学研が研究し実証した脳が活性する学びのコンテンツをプログラムに取り入れており、各地の学研のデイサービスで好評いただいています。

⑤訪問看護「学研ココファン・ナーシング藤沢 SST」(運営:株学研ココファン・ナーシング)病気や障がいを持った人が住み慣れた地域や家庭で、その人らしく過ごせるように看護師が自宅等生活の場に訪問し、健康状態の管理、療養上の相談など24時間365日支援します。薬局・クリニックと連携し介護予防、重介護・終末期ケアへの対応も行います。健康に関する情報発信をすることで街全体が元気になるお手伝いをします。

⑥クリニック「藤沢スマートタウンクリニック」(運営:医療法人山内龍馬財団)藤沢駅前で戦前より長年にわたり地域の医療を提供してきた山内病院が初めて開業するクリニック。内科・小児科・整形外科・在宅医療を提供。

⑦薬局「アイン薬局 Fujisawa SST 店」(運営:株アインファーマシーズ)まごころのこもった正確な調剤と患者の薬の記録やライフスタイルを総合的に把握した説明やサポートを重視。患者一人ひとりを支える在宅医療への参画や、医療連携、情報管理にも積極的に取り組んでいます。

⑧認可保育所「ココファン・ナーサリー藤沢 SST」(運営:株学研ココファン・ナーサリー)養育と教育の一体化を実践する学研の認可保育所。子どもが自発的な主体性をもって動く事が出来るよう「育ちのチカラ」を伸ばします。

⑨学童保育「ココファン・キッズ Fujisawa SST」(運営:株学研ココファン・ナーサリー)少人数+学びで有意義な放課後の時間を提供する学研の学童保育。知育・道徳・健康の3つの要素をバランスよく盛り込んだ、学研の学童保育の新たなブランド第1号店。

⑩学習塾「学研 Fujisawa SST 教室」(運営:株学研エデュケーショナル)全国で15,000教室展開する「学研教室」を発展させた、新たな学びを提供する学習塾。これまでの学校教育の補充・補完を中心としたトータル学習に加え、ICTとリアル(対面指導)の両面から、21世紀型スキルを身に着けることを目的とした学研の新たな教育ソリューション。

⑪特別擁護老人ホーム「カメラア藤沢 SST」(運営:社会福祉法人カメラア会)管理栄養士による栄養ケアマネジメントと、直営厨房と連携したおいしい食事の提供を実践。1F イベントホールではカフェコーナーを開設し、香りと音楽があるコミュニケーションスペースとして活用いただき、「みえるキッチン」で調理したデザート・パン等を提供予定。

⑫短期入所生活介護「ショートステイカメラア藤沢 SST」(運営:社会福祉法人カメラア会)短期的に施設へ入所し、日常生活の介護や機能訓練などを受けながら施設での生活を送ることができるサービス。食事やレクリエーション、機能訓練、健康チェックなどの介護サービスを受けることができます。また高級感のあるホテル宿泊をイメージした内容を目指しています。

■Fujisawa サステイナブル・スマートタウン開発概要(ご参考)

開発所在地	神奈川県藤沢市辻堂元町6丁目
面積	約19ha(約6万坪)
計画地用途	住宅(約1,000戸)／商業／公益施設
計画人口	約3,000人
スケジュール	2020年 街完成予定
総事業費	約600億円

以上